

宮崎日日新聞「くらしの相談」（令和 6 年 12 月 12 日）掲載

○ 有害鳥獣による作物被害に困っているので、駆除してほしい

【問】

シカ、イノシシによるタケノコや田畑の食害に大変困っているので、自分の地区でも駆除を行ってほしい。

【回答】

市町村に在住の行政相談委員が役場担当課に相談内容を伝えたところ、地元の猟友会などで構成される有害鳥獣駆除対策協議会捕獲班の地区担当班長に駆除の実施を相談することになり、その旨相談者に回答しました。

その翌日、役場と地区班長との協議が行われ、数日後に駆除が実施され、駆除の翌日には結果の報告がありました。

野生鳥獣による農作物被害額は、農林水産省によると、令和 4 年度 156 億円で全体の約 7 割がシカ、イノシシ、サルとされ、耕作放棄・離農の増加や営農意欲の減退等の被害をもたらしており、農山漁村に深刻な影響を及ぼしています。

市町村では、有害鳥獣被害を防止するための捕獲活動、防護柵の設置、追払いなどの被害防止施策を実施しています。